

大正大学表現学部表現文化学科
第二回 出版・編集コース公開シンポジウム

これからの編集

主催・表現学部表現文化学科 出版・編集コース

シンポジウムパネリスト

加藤貞顕氏

(ウェブメディア「cakes」「note」運営会社代表)

今井雄紀氏

(星海社「ジセダイ」編集長)

仲俣暁生氏

(「マガジン航」主宰、編集者、本コース客員教授)

いま出版は大きく変わろうとしている。
アナログとデジタルがせめぎ合う変革の中
これからの「知の姿」をいかなる形に「編集」するのか？
その最前線にいる編集者からのメッセージ

期日：平成27年12月16日(水)

時間：(展示) 13時～16時

(シンポジウム開場) 16時

(シンポジウム開演) 16時半～18時半

会場：大正大学三号館2階(展示)

三号館2階 多目的ホール

入場：無料

【パネリストプロフィール】

加藤 貞顕（かとう・さだあき）

編集者、ウェブメディア「cakes」「note」の運営会社代表

1973年。2000年にアスキー（現：KADOKAWA）に入社し、雑誌や単行本の編集に携わる。2005年にダイヤモンド社に入社し、2009年に『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』を企画・編集。同社初のミリオンセラーとなる250万部を越すベストセラーを産む。そうしたヒット作の編集にいそしむ一方で、いまの出版の行く末を構想し、電子出版にも取り組む。2011年に独立し、株式会社ピースオブケイクを設立。出版のこれからを模索しつつ、先端的な電子出版ビジネスに挑戦中。

今井雄紀（いまい・ゆうき）

編集者、20代以下の若者に向けた行動機会提案サイト「ジセダイ」編集長

1986年生まれ。新卒でリクルートコミュニケーションズに入社し、Webのディレクションなどを担当。4年の勤務の後、「Webと紙の書籍、イベントを組み合わせた新しい出版事業をつくる」という志に共感し、2012年から星海社に合流。担当企画に『声優魂』『ギャバ嬢の社会学』『アニメを仕事に！』『全裸対談』『女の友情と筋肉』『アフター5の女王たち』など。書籍編集以外でも、新書企画の相談を受け付け、その様子をニコニコ生放送で公開する持ち込み企画「会いに行ける編集長」のコンテンツ配信も行っている。

仲俣暁生（なかまた・あきお）

編集者、Webメディア「マガジン航」主宰、大正大学 出版・編集コース 客員教授

1964年生まれ。都市情報誌の先駆『シティロード』、デジタルカルチャー誌『ワイアード日本版』など時代を先端を行く雑誌編集を経て、『季刊・本とコンピュータ』に参加し、2003年～2005年は編集長を務める。同誌終刊後、書籍やウェブサイトの企画・制作・編集にたずさわる一方で、2009年に株式会社ボイジャーと出版の未来を考えるWebメディア「マガジン航」を創刊。編集活動の一方で書籍、雑誌、ウェブメディアでの執筆も多く手がける。2011年『再起動せよと雑誌はいう』を上梓。また、講師、客員教授として出版をテーマに多くの大学で指導。